

未来に向かってまた一歩

東日本大震災10周年行事「祈りの灯火2021」

東日本大震災で亡くなった人々への追悼と、復興への想いを胸に、「祈りの灯火2021」を開催します。全国から送られた約1万個の灯籠に火を灯し、たくさんの光に包まれながら復興への誓いを新たにします。

- 【日時】3月11日(木)
▶黙とう：14時46分～ ▶灯籠点灯式：16時50分～
- 【場所】もりおか歴史文化館前広場
東大通商業振興会各店
中津川河川敷（中の橋たもと）
※灯籠点灯式はもりおか歴史文化館前広場で開催

「祈りの灯火2021」のボランティアを募集しています。都合の良い時間のみの参加も大歓迎です。
【申し込み】事前申し込みが必要。祈りの灯火実行委員会 ☎090-2973-4035または「祈りの灯火」ウェブサイトから申し込み

	日時	場所	内容
3/7(日)	10時～12時 13時～15時		灯籠準備
3/11(木)	10時～12時 13時～18時 18時～20時	もりおか歴史文化館前広場 (内丸)	会場準備や灯籠への点火、片付けなど
3/13(土)	10時～12時 13時～15時		灯籠などの片付け

市復興支援年表～10年を振り返る～

年月	出来事
平成23年	3月 東日本大震災発生。市災害対策本部を設置し、被害状況の情報収集や対応にあたる 7月 「もりおか復興支援センター」を開所。市内に居住する避難者の生活再建相談や見守りの支援をスタート 11月 市の復興推進の取り組みに対し意見・提言を行う有識者など委員5人による組織「盛岡市復興推進アドバイザーボード」を設置。令和2年度までに19回開催
平成24年	4月 「盛岡市復興支援学生寮（シェアハウス）」を開所し、進学のために被災地から市内へ転入してくる学生を受け入れ。これまでに60人の学生が入寮 5月 「東北六魂祭2012」を開催。約24万人の観客が来盛し、「復興はつづく。魂も、つづく。」をテーマに復興への思いを新たに
平成25年	5月 学生寮をはじめとする復興推進の複合施設として「もりおか復興推進シェアハート村」を開村。シェアハート村内外の人たちと共にお祭りを開催するなど、地域に根差した運営を行う
平成28年	8月 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の開催に合わせ、震災復興に全国から寄せられた支援に対する感謝の気持ちを表す「壁面アートプロジェクト」を実施
平成30年	4月 もりおか復興推進シェアハート村において、被災学生と内陸避難者による地域食堂事業「けむし食堂」を開始。「みんなで作って、みんなで食べる」をテーマに村内外の人が交流 6月 「東北絆まつり2018」を開催 9月 災害公営住宅「県営備後第一アパート」が完成
令和2年	12月 県内最後の災害公営住宅「県営南青山アパート」が完成。施設内には「もりおか復興支援センター」の分室を併設し、相談や地域コミュニティづくりをサポート
令和3年	3月 東日本大震災10周年



追悼式

盛岡広域首長の式辞と、政府主催の追悼式の中継。
【日時】3月11日(木)14時半～15時
【場所】県公会堂（内丸）
※震災発生時刻の同日14時46分に市役所本庁舎と玉山総合事務所で追悼のサイレンを鳴らします
※新型コロナウイルス感染症対策のため、席数を制限して開催します



新型コロナウイルス感染症対策のため、検温とマスクの着用にご協力をお願いします。また、体調がすぐれない場合の入場はご遠慮ください。

3.11 過去・現在・未来

前もりおか復興支援センター長
斎藤 純さん

震災発生後、個人で被災地に物資を運んでいる人がいる中、沿岸の惨状を見て組織での支援が必要だと思い、まちづくりに関わってきた仲間たちと被災地支援チーム「SAVE IWATE」を立ち上げました。全国からたくさんの支援物資が届く中で、阪神・淡路大震災の被災地である神戸の人たちからは、サイズや用途によって分けられた衣類などが送られてきました。また、震災発生から4カ月後に開所した「もりおか復興支援センター」も、神戸市での先例があったことですぐに設置することができ、活動のヒントももらえました。センターでは、沿岸の被災地域ごとの「お茶っこ飲み会」を開催すると、同じ盛岡にいらながらも、震災以降会えていなかった人と再会できるなど、好評でした。今は「SAVE IWATE」のスタッフ・作家として被災者の声をつづった手記集を制作するなど、震災の記憶を形で残す活動をしています。

震災から10年がたちます。これから被災地の復興のために大切なことは、盛岡と被災地との結び付きを維持していくこと。近くにいる内陸に避難しているだけでなく、その人たちのふるさとの今を知ることが大切だと思います。月日がたち、震災を知らない子どもたちが増えても震災への関心が薄れないよう、これからも実際に足を運んで被災地を見てほしいです。



卒寮生に聞きました！震災から10年を迎えて

復興支援学生寮は、被災地から大学などへの進学のため、市内に転入してくる学生に生活と学習の場を提供し、また、復興を担う人材を育成するための施設です。これまで60人の学生が入寮し、現在も10人の寮生が共同生活を送っています。被災地復興に向け、それぞれの思いを胸に、日々勉強に励んでいます。学生寮で生活し、今は社会人として働きながら復興に携わる2人に、震災から10年を迎えた今の思いを聞きました。



田村 柚里香さん
大船渡市出身
平成30年度卒寮
盛岡大短期大学部卒業
学生寮での一番印象深い思い出は、夏祭りなどのイベントに向けて夜遅くまでみんなで装飾を作ったことです。現在は大

船渡市で保育士をしています。仲間と協力して取り組んだ経験を生かして頑張っています。震災から10年がたち、仕事で笑ったり、悩んだり、また学生寮で出会った人たちと連絡を取り合ったりと、当たり前のできているありがたさを日々感じています。



シェアハート村で開かれたお祭りの様子



岡本 瑞貴さん
陸前高田市出身
平成30年度卒寮
上野法律ビジネス専門学校卒業
現在、県職員として医療分野に携わっています。沿岸地域に配属され、地元で貢献できる喜びを感じています。今の私がいる

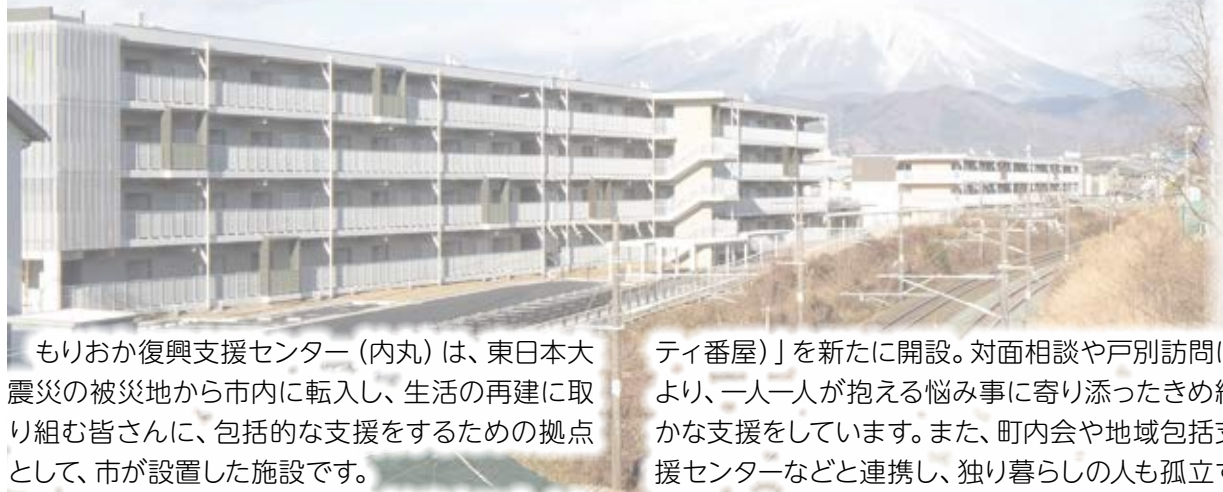
のは、学生寮の仲間のおかげです。夕飯をみんなで一緒に作って楽しく食べ、就職活動で悩んでいるときには背中を押してくれました。震災から10年がたちますが、今なお支援のバトンがつながっています。私も、そのバトンを受け取り、次につなぐために何ができるかを考えていきたいです。

南青山
アパート内

もりおか復興支援センター

青山コミュニティ番屋

オープン！



もりおか復興支援センター（内丸）は、東日本大震災の被災地から市内に転入し、生活の再建に取り組む皆さんに、包括的な支援をするための拠点として、市が設置した施設です。
昨年12月、県の災害公営住宅「南青山アパート」が完成したことに伴い、同アパート内に「もりおか復興支援センター南青山拠点（愛称：青山コミュニ

ティ番屋）」を新たに開設。対面相談や戸別訪問により、一人一人が抱える悩み事に寄り添ったきめ細かな支援をしています。また、町内会や地域包括支援センターなどと連携し、独り暮らしの人も孤立することのないよう取り組みます。今後はお茶会などのサロンや各種サークル活動も予定していますので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

東日本大震災関連展示

3.11絵本プロジェクトいわて 10年の軌跡 【問】中央公民館 ☎654-5366

被災地の子どもたちに絵本を届ける「3.11絵本プロジェクトいわて」の活動最終年を記念して、10年間の活動を振り返る展示と、同プロジェクトの末盛干枝子代表による講演会を開催します。



【場所】中央公民館（愛宕町）
【広報ID】1034027
■企画展示「絵本プロジェクト10年の活動を振り返る」
【日時】3月18日(木)～21日(日)、9時～17時※21日は12時～16時

■記念講演会
【日時】3月21日(日)10時～11時半
【定員】70人
【申し込み】往復はがきに講演名と住所、名前、性別、生年月日、電話番号を記入し、☎020-0013愛宕町14-1中央公民館へ郵送。3月12日(金)必着

「みんなのたからもの」ししゅう高田松原タペストリー展
【問】都南図書館 ☎637-3636・中央公民館 ☎654-5366

東日本大震災で失われた高田松原（陸前高田市）の美しい風景を刺しゅうで再生させたいという思いから始まった「『みんなのたからもの』ししゅう高田松原プロジェクト」。全国各地、そして

海外からも集まった作品をつなぎ合わせた、大きなタペストリーを展示します。
【日時・場所】3月6日(出)～14日(日)は都南図書館（永井24）、3月18日(木)～21日(日)は中央公民館（愛宕町）
【広報ID】都南図書館：1025628
中央公民館：1034088

3.11東日本大震災 資料展
【問】市立図書館 ☎661-4343・中央公民館 ☎654-5366

■特別展示
「東日本大震災から10年」震災の記録と復興をたどる資料を展示します。
【日時】3月13日(出)まで
【場所】市立図書館（高松一）

■図書室展示「あの日から10年～3.11を風化させないために」震災に関する本の展示・貸し出しをします。
【日時】3月4日(木)～24日(水)
【場所】中央公民館
【広報ID】1034029

青山コミュニティ番屋

【場所】南青山町2-1 災害公営住宅
県営南青山アパート2号棟1階
【時間】9時～18時
【問】☎656-1626
ファクス 656-1627



地図

